

# 市の考えを問う 一般質問

12月8日・9日・10日の3日間行われた一般質問の主な質問(Q)と答弁(A)の概要を掲載します。

## 条例改正等

議案第63号  
在宅重度心身障害者手当支給条例の一部を改正する条例について

Q 今回の改正内容は。

A 障害者福祉課長 主なものは、身体障害者、知的障害者に加えて新たに精神障害者も支給対象とすること、超重症心身障害児を支給対象とすること、65歳以上の新規手帳取得者を支給対象外とすることの3点である。

議案第70号  
公の施設の指定管理者の指定について



鶴ヶ島市老人福祉センター「逆木荘」の指定管理者の指定期間が終了することに伴い、社団法人

議案第71号  
公の施設の指定管理者の指定について



鶴ヶ島市シルバー人材センターを再指定するもので、指定期間は5年です。

議案第72号  
市道の路線の認定について

鶴ヶ島市上広谷児童館の指定管理者の指定期間が終了することに伴い、特定非営利活動法人鶴ヶ島市学童保育の会を再指定するもので、指定期間は5年です。

議案第73号  
市道の路線の廃止について

Q 廃止後の道路の使い方は。  
A 道路建設課長 今回の廃止路線は、元ダイエー脇の行き止まりの道路である。開発により新しい道路に接続されるため、現在の道路は終点が変更になるので、新たな道路と併せて認定し、道路として使用することになる。

## Q 幼稚園・保育所の連携について

## A 幼・保・小連絡協議会を開催予定

齊藤 芳久 議員

質問一 幼稚園の現状について。

二 保育所について。

三 今後の対応について。

答弁一(教育委員長) 私立幼稚園は6園あり、定員総数1550

人に対し、園児数は1231人である。幼稚園は文部科学省の管轄の教育施設であり、保育所は厚生労働省の管轄の児童福祉施設である。現在は幼稚園でも預かり保育

が行われている。幼稚園は、市からは1園当たり年間11万円を、県からは私立幼稚園特別支援教育費補助金等の各種補助金を受けている。

二(市長) 認可保育所の3歳から5歳児は、533人の定員に対し入所者は557人である。市は、民間の認可保育所の運営改善などを目的に補助金を支出している。



富士見保育所

三 3歳から5歳児が幼稚園に通園している割合は、平成19年度から21年度にかけて微増している。

幼小連絡会をはじめ、幼稚園と小学校では活発な交流をしている。今後、管轄が違う機関の横のつな

がりの充実のため、幼・保・小連絡協議会を開催する予定である。

なお、行政主導で、保育所の待機児童を幼稚園へ導くことは、現状では難しい。